

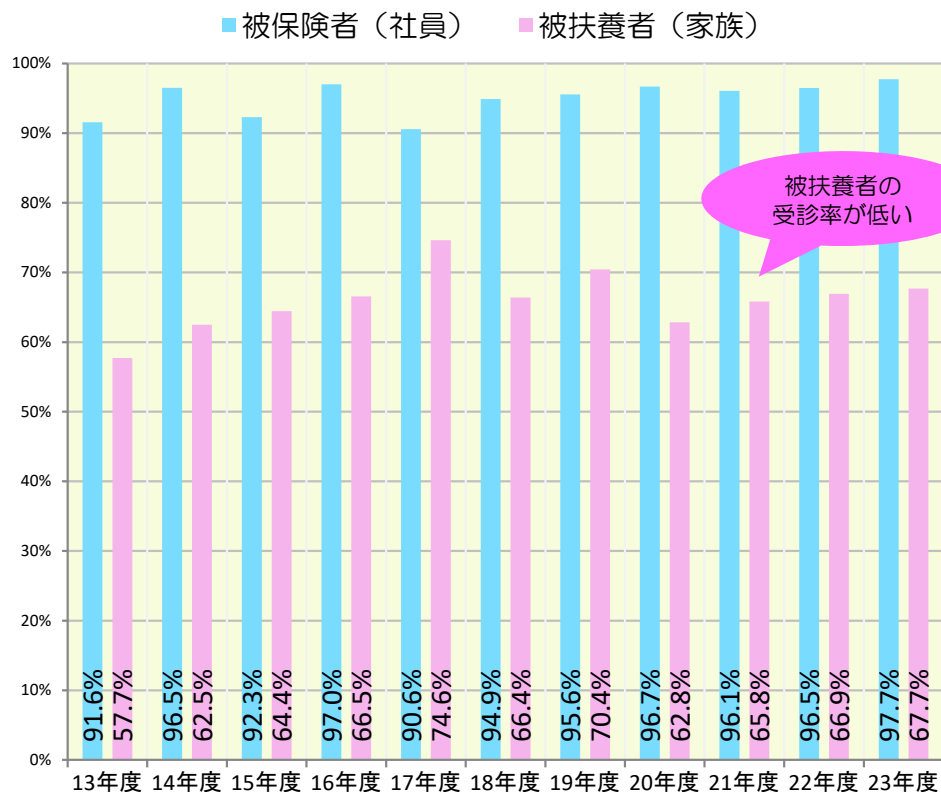
データヘルス計画について

データヘルス計画とは、健康保険組合等が保有するレセプト（診療報酬明細書）や健康診断データなどの情報を活用し、加入者の健康づくりや疾病予防、重症化予防を行う国全体の取り組みです。

2024年度から「第3期データヘルス計画」がスタートしています。当健保でも、さまざまな保健事業を展開していますので、積極的に参加して健康維持・増進に努めていただくようお願いいたします。

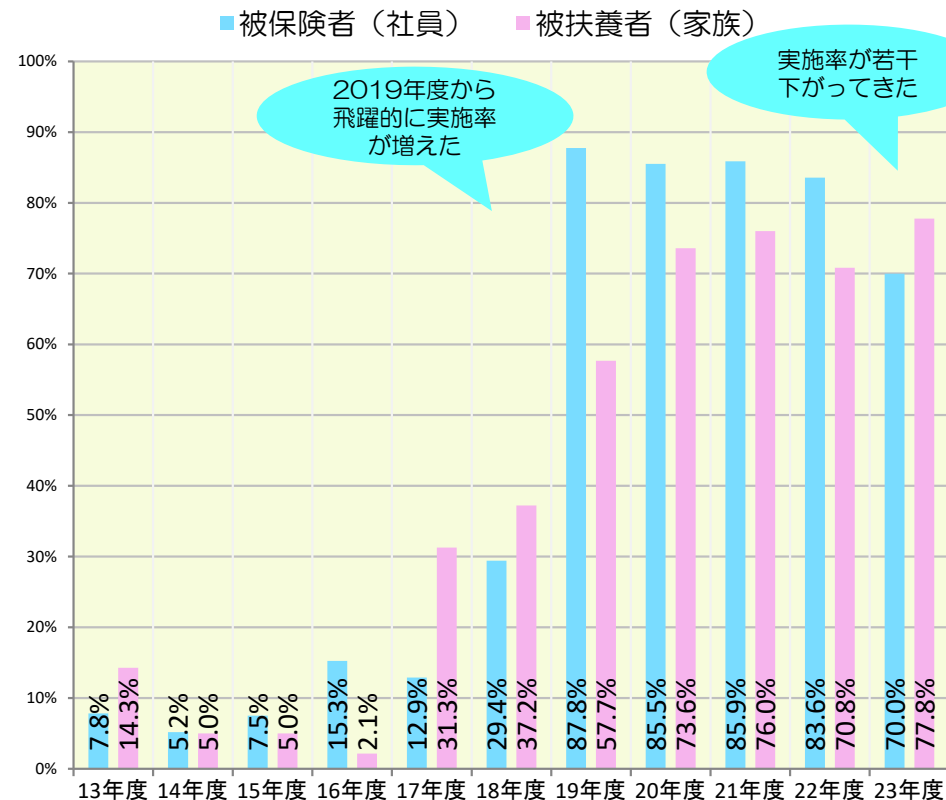
特定健康診査・特定保健指導の実施強化

特定健康診査 受診率

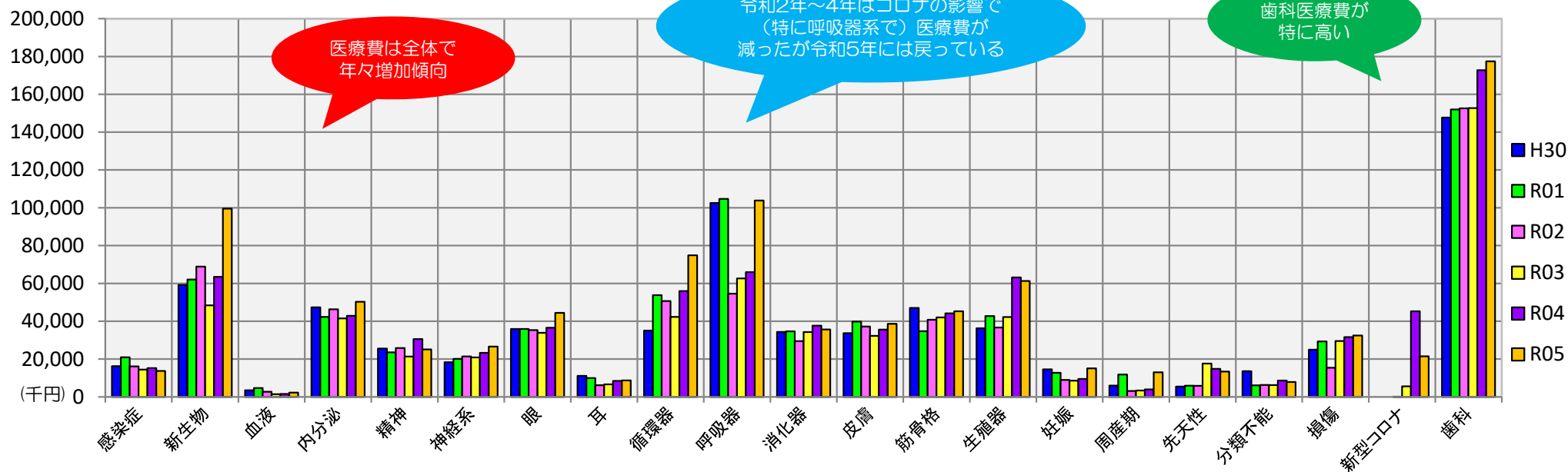


（※）特定健康診査…40～74歳の人を対象にした「メタボ」健診

特定保健指導 実施率



（※）特定保健指導…「メタボ」対象者への保健指導



1 特定健康診査受診率と特定保健指導実施率の向上（40歳以上の方を対象）

「メタボリックシンドローム」（内臓脂肪症候群）は、心筋梗塞・脳卒中・糖尿病などの生活習慣病の発症リスクを高めます。ほとんどの生活習慣病は症状のないままに進行するので、症状を自覚する頃には手遅れとなっていることもあります。できるだけ早い段階でメタボリックシンドロームを予防し改善することで、生活習慣病発症リスクを回避できます。そのための検査と改善対策が、特定健診・特定保健指導です。特定健診（人間ドック・巡回主婦健診または事業所の定期健診）は毎年1回受診し、その結果、特定保健指導が必要と言われたら必ず受けていただくようお願いいたします。

特定健康診査

被扶養者の受診率が低い

特定保健指導

実施率が下がりつつある

● ほとんどの人間ドック健診機関で、人間ドック受診時に特定保健指導の対象となった方には、そのまま引き続き特定保健指導が受けられるように契約をしています。特定保健指導が必要と言われたら受けていただくようお願い致します。

目標

特定健康診査

受診率100%（社員）
80%（家族）

特定保健指導

実施率 80%

2 重症化予防対策

健診結果の数値から「糖尿病」になるリスクが高いと思われる方に通知をし、希望者にはその後の保健指導を実施します。これとは別に「腎機能」が低下していると思われる方にも通知を行い、医療機関への受診を勧めます。通知が届いた方は、医療機関受診等の対応をお願い致します。

● 糖尿病の代表的な合併症

糖尿病性腎症

腎臓の毛細血管が傷つけられ、働きが低下します。人工透析を始める原因として、もっとも有力なものです。

糖尿病性網膜症

網膜の毛細血管に障害が起きて発症します。最悪の場合、失明に至るケースもあります。

糖尿病性神経症

手足のしびれなど、抹消神経に起きる障害です。進行すると組織が壊死し、切断に至ることもあります。

3 歯科治療費の削減

医療費の第一位を占める歯科治療費の抑制のため、各種保健事業への積極的な参加をお願いします。

● 歯科検診

愛知・岐阜・三重・静岡4県の歯科医師会加盟の歯科医院で無料の歯科検診を受けられます（16歳以上の方、年2回まで）。4県以外では相当分を補助します。

● ハッピー☆ブラッシング キャンペーン

6月1日～8月31日までの期間、社内で歯磨きセットを配布し、1日3回の歯磨きに挑戦していただきます。65日以上できた方には達成賞を差し上げます。

● つよい子になるぞ!! キャンペーン

10月～12月までの期間、小学校就学前のお子様を対象に、毎日の歯磨き・手洗い・うがいにチャレンジして台紙にシールを貼っていただきます。アンケート提出者には達成賞を差し上げます。